

ことから、今後もこうした対策を継続するよう提言を行った。また、今後、適正な温泉資源の管理と利用を進めるためには、温泉資源状況や今後の課題等についても、温泉利用者との共通認識を持ち、理解と協力を求めながら、地域全体の問題として対応していく必要があることを提言した。

5. 4 石狩平野中南部地域の地下水環境モニタリング

(担当)：丸谷 薫・森野祐助

石狩平野から勇払平野にかかる地域では、主要な帯水層が連続して分布しているため、一括して石狩平野地下水区として扱い、主に千歳市から苫小牧市に及ぶ地域を対象に地下水の水位・水質、および湧水の水質などを観測した。なお、本研究は、独立行政法人産業技術総合研究所からの受託研究である。

得られた主要な結果は、以下のようなものである。支笏火山噴出物を対象とした地下水水位観測では、4～5月に融雪水の浸透、及びまとまった水量の降水による水位上昇が観測された。長期的には、水位変動は小さく、安定しているようであった。湧水・地下水の水質調査では、湧水をはじめとする河川水や浅層地下水と同様の水質組成を示す試料と、被圧地下水の水質組成に近い性質を示す試料があった。